

子どもの本だな 40

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

### ちいさいしょうぼうじどうしゃ

ロイス・レンスキー ぶん・え

わたなべ しげお やく (福音館書店)

消防士のスモールさんが、消防署の2階で寝っていると、ちんちん！ちんちん！ちんちん！出動のベルがなりました。スモールさんはすべり棒をすべりおり、防火服を着て、消防車にとびのり、通りの角の家にかげつけました。スモールさんの指揮のもと、消防士たちは、ポンプ車の吸い込み口を消火栓につなぎ、ポンプを動かして、放水開始。スモールさんは、2階から女の子を助け、屋根にあけた穴から水をかけました。

きびきびとした消防士たちの作業がテンポよく語られて、消防車の仕組みをわかりやすく描いた絵とともに子どもたちを引きつけます。子どもたちはスモールさんの活躍を息をつめて見守ります。3歳くらいから楽しめます。(片木)

### さらわれたデービッド

R. L. スティーブソン 作

坂井 晴彦 訳 寺島 龍一 画 (福音館書店)

叔父にだまされ奴隷として船に寄せられたデービッドは、嵐の中船に乗り込んできたアランという男に助けられました。アランはフランスに逃れた正当な国王の復位のために働く抵抗勢力の中心人物でした。その後船は難破し、九死に一生を得たデービッドは、アランを追う旅を続けます。ところが目の前で国王の代官が殺害されたため、デービッドもアランと同様にイギリス軍に追われることになりました。身を隠す物もないスコットランドの荒地を氏族たちに助けられながら、父の友人だった弁護士ランキーラ氏のところへ命からがら逃げていきました。

『宝島』の作者が歴史的な事件を基に描いた物語で、留学中の夏目漱石も愛読し歯切れの良い文章を褒めています。人物や情景が目には浮かびデービッドと緊迫した経験をし、個性的な登場人物と出会うことができます。11歳位から大人まで楽しめます。(西村)

2月	3月	2・3月の移動図書館(いずれも木曜日です)				
9日	9日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
16日	16日		岩見構上 公会堂 11:00~11:20	原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
23日	23日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		吉福 公民館 15:30~15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00~16:30

### やさしい考古学講座 「縄文の人々の暮らし」

「東南遺跡」をはじめ県内の代表的な遺跡発掘の成果をもとに、この地域に生きた縄文人の生活をお話いただきます。  
講師：深井明比古さん

(兵庫県立考古博物館)

日時：3月25日(土)  
13:30~15:30

会場：あすかホール  
ミニシアター

対象：小学生以上大人まで  
(60名)

※申込みが必要です。

# 『カンパン夫人 フランス革命を生き抜いた首席侍女』

イネス・ド・ケルタンギ 著 ダコスタ 吉村 花子 訳

白水社 327, v頁 2016年9月刊 2,900円 (請求記号) Bカン

ジャンヌルイーーズアンリエット・ジュネは、一七五二年パリに生まれ、後にカンパン夫人と呼ばれる女性である。彼女は幼い頃から聡明で、その非凡さに気付いた父は娘に最高の教育を施した。知性と教養を身に付けた彼女は、十五歳でヴェルサイユ宮殿に入り、ルイ十五世の娘たちの朗読係を経て王妃アントワネットの侍女となった。王妃の計らいで宮廷に仕えるカンパン氏の息子と結婚するも夫の放蕩に悩まされ、一人息子アンリを授かったのは十年後の事だった。

フランス革命のさなか、宮廷内外からの敵意に苦しむ王妃アントワネットに常に寄り添い続け、王妃や国王が心から信頼できる数少ない一人であった彼女は、王妃付き首席侍女として最後まで忠誠を守り続けた。彼女にも民衆の怒りが向けられるが、辛うじて生きながらえる。

職も財産も失い、夫の借金返済と生き残った親族を養うため、彼女は女性のための学校を作ることを思いつく。女性教育は不要とされた時代、教養を武器に生きてきた彼女は教育の大切さを痛感していた。しっかりとした教養を身につけた女性こそが本当の淑女と考える彼女の寄宿学校は徐々に評判になり、名家やアメリカ大使の娘たち、そしてナポレオンの娘で後のオランダ王妃オルタンスなどが入学し、カンパン夫人は彼女たちを愛情深く育て上げた。その後、女性教育を重んじる皇帝ナポレオンの支持を得、新たに設立された学校の校長となった。

マリー・アントワネットに約二十年間仕え、女性教育の第一人者となったカンパン夫人の評伝。夫人著の『回想録』や様々な書簡を元に描かれ、夫人の眼を通して語られるマリー・アントワネットの姿は今までのイメージとは違う、王妃、妻、母として懸命に生きる一人の女性であった。本書に出てくる宮廷画家ヴィジェ・ルブランの生涯を描いた『マリー・アントワネットの宮廷画家』（河出書房新社）や『マリー・アントワネットとマリア・テレジア秘密の往復書簡』（岩波書店）、『マリー・アントワネット 華麗な遺産がかたる王妃の生涯』（原書房）などもあわせて読みたい。

(池之上)

カレンダーの×印は休館日。  
開館は10時～18時。  
金曜日は20時まで開館。

## 2月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	×	×	8	9	10	11
12	13	×	15	16	17	18
19	×	×	22	23	24	25
26	27	×				

## 3月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	×	×	8	9	10	11
12	13	×	15	16	17	18
19	×	×	22	23	24	25
26	27	×	29	30	×	

## お知らせ

毎週土曜日に

「おはなしの時間」

を開いています。

4歳～2年生 11:00～

3年生～中3 11:30～

2月のおはなしは、

「元気な仕立屋」「十二の月のおくりもの」「八またの大蛇」などを予定しています。

詳しくはプログラムをご覧ください。

## 地下水

授業で取り上げられるので、小学生が何人も昔の道具を調べにきた。時期をずらし、たつの市に住む姪も同じ課題を持ち帰ってきた。昔使われていた道具を二つ書いてきなさいというもの。

姉と、わたしたちの昔を思い起こし、近頃見かけなくなつたものを挙げてみた。真つ先に出てきたのがお風呂のゲスイタ。我が家には、今でも薪で焚く風呂がある。熱くなつた浴槽の底に直に触れないように敷く板をゲスイタと呼んでいるが、現在はプラスチック製のもの。一代前のゲスイタは木製で、円い下駄みたいだった。姉と互いに向き合う格好で風呂のふちに腰掛け、ゲスイタを浮かべると、一方が力を入れた同じ力加減で、もう一方も踏みつけ、沈めていく。湯の中で遊んでバランスが崩れると、ゲスイタが飛び出してくる。風呂の下から取り出した炭を七輪に入れ、ざらざらと炒つたあられがおいしかった、などと話す私たちの話を姪は、ぽけーっと聞いていた。ほかにも、リヤカー、氷枕、煙管、三輪のトラック、と懐かしいものがいくつか出てきた。

まだ十歳にもなっていない子どもたちが、大人になり、「昔の道具」ときかたるとき、どんなものを思い浮かべることになるのだろうか。もう十分すぎるほど物があるけれど、そのなかでも無くなつてしまふもの、どんどん機能がよくなるものがあるのだろうか、と思つた。

(竹内)

